205000158-2

地上デジタルチューナー

PRODIA

取扱説明書

PRD-BT106-P02

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- 本書で使用している画像は実際とは異なる場合があります。
- 本書で使用している画像の一部は、はめ込み合成です。

内容品

本製品に付属する内容品を確かめてください。そろっていないときは、弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

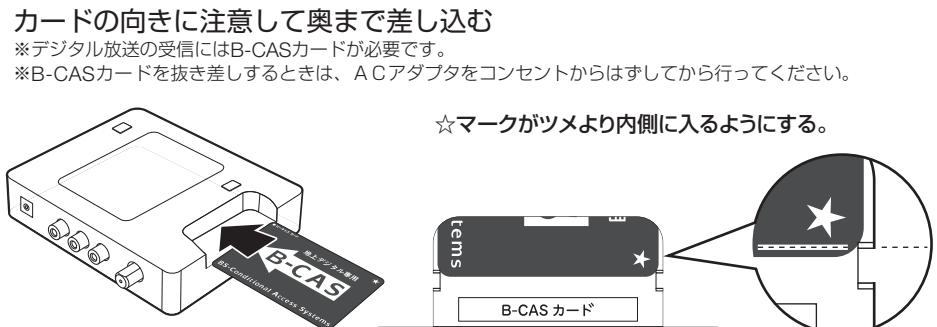
☐本体 ☐リモコン ☐ACアダプタ ☐AVケーブル ☐B-CASカード（使用許諾契約書 添付） ☐単4乾電池2本（動作確認用） ☐取扱説明書（本書）

準備しよう ～接続と設定～

B-CAS カードを本体の裏面に差す ※使用許諾契約書をよくお読みください。

カードの向きに注意して奥まで差し込む

※デジタル放送の受信にはB-CASカードが必要です。
※B-CASカードを抜き差しするときは、ACアダプタをコンセントからはずしてから行ってください。

☆マークがツメより内側に入るようにする。

リモコンの準備

電池の向きに注意して
リモコンに電池を入れる

※付属の電池は動作確認用のため、通常より早く消耗する場合があります。

本機にケーブルをつなぐ

1. アンテナケーブル（別売）をつなぐ

F型コネクタのアンテナケーブルが必要です。

2. AVケーブルをつなぐ

端子の色が一致するように接続してください。

※テレビ側の入力端子は、メーカーによって「ビデオ1」や「外部入力」など、名称が異なります。
※テレビ側の入力端子が白と黄しかない場合は、白と黄のケーブルをつないでください。（この場合、音声は片側モノラルになります。）

3. ACアダプタをつなぐ

接続は、①本機側 ②コンセントの順で行ってください。

※必ず付属のACアダプタを使用してください。

はじめて設定

1. 接続をすべて完了したら、下記の手順で電源を入れる

① テレビの電源を入れる
② 本機の電源を入れる
③ テレビの入力を切り換える
※メーカーによって「ビデオ1」や「外部入力」など、名称が異なります。

▶ [はじめて設定]画面が表示されます。

2. 付属のリモコンの[決定]ボタンを押す

▶ チャンネルスキャンが開始されます。完了すると、自動的に地上デジタル放送の視聴画面に切り換わります。

※スキャンには時間がかかる場合があります。完了するまで、しばらくお待ちください。

Q＆A

Q 電源が入らない
A ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。

Q 電源が入っているのに操作できない
A 一度、ACアダプタをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。

Q リモコンで操作ができない
A
- リモコンの操作範囲内で、本体の前面に向けてリモコンを操作してください。
- 電池の極性（＋、－）が正しいか確認してください。
- リモコンの電池を交換してください。

Q 映像が表示されない
A
- 本機および、テレビの電源が入っているか確認してください。
- テレビの入力設定を本機に接続した入力に切り換えているか確認してください。
- 本書に記載している接続方法が、すべて正しく行われているか確認してください。
- 付属のB-CASカードが正しい方向に挿入されているか確認してください。

Q 音声が出ない
A
- テレビの音声が極端に小さい、または、消音になっていないか確認してください。
- 本機とテレビとの音声端子が正しく接続されているか確認してください。

Q 視聴している最中に勝手に待機状態になる
A 無操作自動電源オフの設定が[オン]になっている場合は、[オフ]にしてください。

Q チャンネル番号が画面から消えない
A リモコンの[画面表示]を押すと、表示が消えます。

Q 映像が乱れる・止まる
A
- 悪天候のときは、映像が乱れることがあります。
- 本機とアンテナケーブルおよびテレビが正しく接続されているか確認してください。アンテナケーブルのプラグの中にある芯線が折れていないかも確認してください。
- 視聴中や待機中など、本機が通電状態のときにB-CASカードを抜き差しすると、放送が受信できなくなることがあります。この場合は、一度、ACアダプタをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。

Q 電源ランプが点滅している
A 本機の内部処理中です。赤色に点滅している間は、ACアダプタを抜かないでください。

Q 本体が熱くなる
A 本体内部の放熱のため、本体が熱くなることがありますが故障ではありません。

弊社ホームページ(http://www.pixela.co.jp/)にも最新の情報を記載しています。
それでも解決しない場合は、弊社ユーザーサポートへお問い合わせください。

安全上のご注意

⚠警告

以下の注意事項は、火災・感電・破裂などにより、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

記号	内容
❗	**以下の場合、すぐにACアダプタをコンセントから抜く** **・煙が出たり、異臭、異音がするとき** **・内部に水や異物が入ったとき** **・製品が破損、故障したとき** 火災・感電の原因となります。修理・点検は、本機のお買い上げ店または、ユーザーサポートセンターにご連絡ください。
❗	**ACアダプタが発熱したり、コードが傷んだりしたときは、すぐに電源を切り、ACアダプタが冷えたのを確認してからコンセントを抜く** 火災・感電の原因となります。本機のお買い上げ店または、ユーザーサポートセンターに点検をご依頼ください。
⃠	**本機の上にものを置かない** 内部温度が上昇したり、液体や金属類が内部に入ると、火災・感電・故障の原因になります。
⃠	**振動や衝撃がある場所や、傾斜しているなど、不安定な場所に置かない** 倒れたり、落ちて故障やけがの原因となります。
❗	**日本国内で使用する** 故障の原因となります。
⃠	**内部に異物を入れない** 金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。
⃠	**修理・改造・分解はしない** 火災・感電の原因となります。点検・修理は本機のお買い上げ店または、ユーザーサポートセンターにご依頼ください。
⃠	**水にぬらさない** 火災・感電の原因となります。
❗	**使用する時は必ず付属のACアダプタを使用し、100Vのコンセントに、確実に差し込む** 火災・感電・故障の原因となります。
❗	**付着した埃は定期的に掃除する** 火災の原因となります。ACアダプタを抜いてから掃除してください。
⃠	**通電中にふとんをかけたり、暖房器具の近くに置かない** 火災・故障の原因となります。
❗	**屋外アンテナの設置や工事は専門業者に依頼する** 感電やけがのおそれがあります。設置・工事は本機のお買い上げ店または、電器店に相談してください。

⚠注意

以下の注意事項は、感電・その他事故などにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与える可能性があることを示します。

記号	内容
⃠	**直射日光が当たったり、極度に温度が高い場所に置かない** 火災や故障の原因となります。
⃠	**湿気・油気・埃の多い場所に置かない** 火災・感電の原因となります。
⃠	**風通しが悪い場所や引火の恐れがある場所に置かない** 内部温度が上昇し、火災・故障の原因となります。
⃠	**ぬれた手で抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
❗	**本機を移動するときは、接続しているケーブル類をすべてはずす** ケーブル類が傷ついたり、火災・感電・故障の原因となります。
⃠	**小さなお子様の手が届く場所に設置しない** けがの原因になります。
❗	**本機の電源を入れる前はテレビの音量を最小にする** 突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因になることがあります。
❗	**長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く** ACアダプタに埃がたまり、火災や感電の原因になります。
❗	**電池の取り扱いは以下のことを守る** **・指定以外の乾電池は使用しない** **・正しい極性（＋／－）でセットする** **・使用推奨期限が過ぎた乾電池や、使い切った乾電池は使用しない** **・種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を併用しない** 液もれや破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。液には直接触れず、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

表示されている記号について

⃠ 行為の**禁止（してはいけません）**を示します。　❗ 行為の**指示（必ずしてください）**を示します。

使用上のご注意

- ■本製品は一般家庭用に設計・製造されています。一般家庭用以外（長時間の使用、車両、船舶などへの搭載）で使用すると、故障の原因となります。
- ■本製品は日本国内での使用を前提に設計、開発されています。海外での使用は保証いたしかねます。
- ■本製品は、社団法人電波産業会 (ARIB) が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。
- ■本製品とお持ちの機器を接続して録画や録音する場合、個人で鑑賞する場合のみお楽しみいただけます。著作権法上、権利者に無断で使用することは禁止されています。
- ■アナログテレビに接続することを前提とした製品のため、仕様上、地上デジタル放送本来の画質・音質は再現できません。
- ■本製品とお持ちの機器を接続して録画する場合、本機の不具合等により、録画できなかったときなどの補償はいたしかねます。
- ■本製品の不具合により視聴できなかった場合や、ソフトウェアの更新により、情報が消失した場合などの補償はいたしかねます。
- ■通電状態での B-CAS カードの抜き差しにより、映像、音声、その他の情報が受信できなかった場合の補償はいたしかねます。
- ■B-CAS カードを紛失、破損などされた場合は、B-CAS カードのカスタマーセンターにお問い合わせください。
- ■UHF とその他の放送（BS 放送など）が混合された放送波を受信している場合、特定のチャンネルを受信できないことがあります。この場合は分波器を使用して接続してください。

保証書

本製品は当社品質検査に合格したものです。万一、保証期間内での正常な使用状態にもかかわらず、故障が発生した場合、本書記載の保証規定に基づき無償修理を行います。
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名／製品番号	地上デジタルチューナー PRD-BT106-P02
製造番号	本体記載の製造番号をご記入ください。
お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
販売店名 住所・電話番号	販売店様へ お買い上げ年月日、貴店名、住所、電話番号を記入してください。

1. 保証期間内において、取扱説明書等にしたがった正常な使用状態にもかかわらず、故障が発生した場合、保証規定に基づき無償修理をいたします。故障発生の場合には、弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。
2. 保証期間内にあっても、お客様の取扱いの不備、操作間違い等が原因による故障は、原則として有償修理とさせていただきます。
3. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。
4. 本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。
5. 本保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

保証期間を経過した、保証外修理の場合

修理することで使用できる場合は、ご希望により有償で修理いたします。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造終了後 5 年です。補修用性能部品の最低保有期間を過ぎた場合でも、故障箇所によっては修理が可能な場合がありますので、弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

保証規定

1. 保証期間内にあっても次の場合は有償修理となります。また、本書並びに製品付属の取扱説明書等に別途記載されている場合には、その保証規定にしたがい有償修理となりますのでご注意ください。
   a) お買い上げ日が確認できない場合
   b) 本保証書の提示がない場合、また保証書を書き換えた、所定事項に記入がない場合
   c) 操作上の誤り、他の機器との誤った接続、弊社によらない修理や改造による故障および損傷
   d) お買い上げ後の輸送、移動時の取り扱いが不適当なために生じた故障および損傷
   e) 火災、風水害、地震などの天災、異常電圧による故障および損傷
   f) 使用中、ケース等に生じる傷などの外観上の変化
   g) 消耗品（電池等）および付属品を取り換えた場合
2. 保証期間内でも製品を弊社へ送付された場合の送料および諸掛りにつきましては、お客様の負担となります。なお、送付の際は適切な梱包のうえ、紛失防止のために受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
3. 本製品の故障および故障状態での使用により生じた直接、間接の損害につきましては、弊社はその責任を負いかねます。
4. 修理受付後、弊社において障害が再現できない場合は、交換、修理をいたしかねる場合があります。
5. 修理によって交換された不良品の所有権は、当社に帰属するものとし、交換した部材に関するデータ等の内容については一切の責を負わないものとします。
6. 保証期間経過後の修理につきましては、やむを得ない事情により、お客様へ事前通知なしに使用部品などを変更する場合があります。

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

0120-727-231（無料）
※フリーダイヤル以外の場合、通話料がかかります。
携帯電話をご利用の場合
0570-064-246
受付時間 10:00 ～18:00（年末年始と祝日を除く）
フリーダイヤル、ナビダイヤルをご利用いただけない場合
FAX 06-6633-2992
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70 パークスタワー 25F

使ってみよう ～各部の名称と機能～

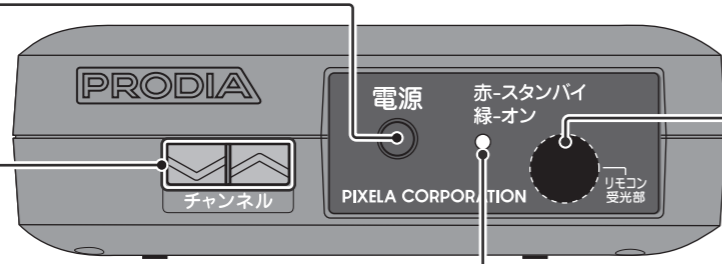
本機は、お使いのアナログテレビでデジタル放送を視聴するための機器です。
ご利用できるサービスは右表のとおりです。

本機でご利用できるサービス			
地上デジタル放送	○	電子番組表	×
BSデジタル放送	×	字幕放送	○
110度CSデジタル放送	×	データ放送（双方向サービス）	×

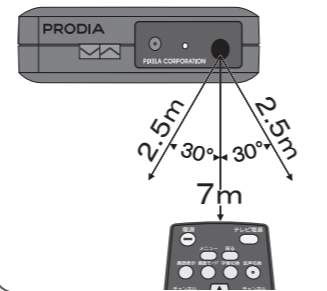
本機のなまえとはたらき

電源ボタン
本機の電源を入/切します。

※テレビの電源と、本機の電源は連動していません。テレビを視聴しないときは、テレビと本機の両方の電源を切ってください。

チャンネルボタン
チャンネルを順送りで切り換えます。

リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

操作範囲	
正面	約7m
左右 30°	約2.5m
上下 15°	約2.5m

2.5m 30° 30° 2.5m 7m

電源ランプ
本機の状態を示します。

※電源ランプは正面以外の角度から見ると、点滅状態や色を確認しにくい場合があります。

※電源ランプが赤色に点滅している間は内部処理中のため、本機の電源を入れたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。

ランプの光り方	本機の状態
緑	視聴中（電源／入）
赤	待機中（電源／切）
赤（点滅）	内部処理中

リモコンのなまえとはたらき

本機の操作ボタン

電源 本機の電源を入/切します。

メニュー メニュー画面を表示します。
※もう一度押すと、メニュー画面が消えます。

戻る メニュー画面上で、1つ前の画面に戻ります。

画面表示 番組情報を表示します。

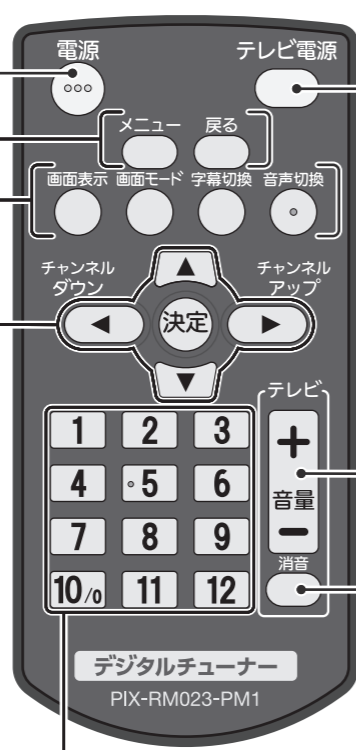
画面モード 画面の表示方法を切り換えます。

字幕切換 番組に字幕が含まれている場合、表示／非表示を切り換えます。

音声切換 番組に複数の音声が含まれている場合、別の音声に切り換えます。

メニュー画面上で選択･実行の操作をします。
※「メニューの使い方」(右側ページ)を参照してください。
※テレビ視聴時は ◀ ▶ ボタンでチャンネルを順送りすることができます。

1 ～ 12 チャンネルを切り換えます。

電源 テレビ電源 メニュー 戻る 画面表示 画面モード 字幕切換 音声切換 チャンネルダウン チャンネルアップ 決定 テレビ 音量 消音 デジタルチューナー PIX-RM023-PM1

テレビの操作ボタン

テレビ電源 テレビの電源を入/切します。

音量 音量を調節します。

消音 音声を消します。
※お使いのテレビに消音機能がない場合は、使用できません。

テレビの操作には、事前にリモコンの設定が必要です。
右表からお使いのテレビメーカーの番号を確認のうえ、以下の手順で設定してください。

テレビ電源 を押しながらメーカー番号を押す

テレビ電源 を押してテレビの電源の入／切ができれば設定は完了です。

メーカー番号

メーカー	番号	メーカー	番号
パナソニック	10・1	アイワ	2・6
	10・2		2・7
シャープ	10・3		2・8
	10・4	SAMSUNG	2・9
	10・5		3・10
三菱電機	10・6		3・1
	10・7		3・2
東芝	10・8		3・3
	10・9	フナイ	3・4
	1・10		3・5
日本ビクター	1・1		3・6
	1・2		3・7
	1・3		3・8
日立製作所	1・4		3・9
三洋	1・5	オリオン	4・10
	1・6		4・1
	1・7	LG	4・2
ソニー	1・8		4・3
	1・9		4・4
NEC	2・10		4・5
	2・1		4・6
富士通	2・2		4・7
	2・3		4・8
	2・4	DXアンテナ	4・9
パイオニア	2・5		5・10
			5・1

※上記にお使いのメーカーがない場合は、設定できません。
※設定できない場合や、同じメーカーの他の機器が反応するときは、別のメーカーをお試しください。

メニューの使い方

メニュー画面では、設定の変更や、情報の確認ができます。

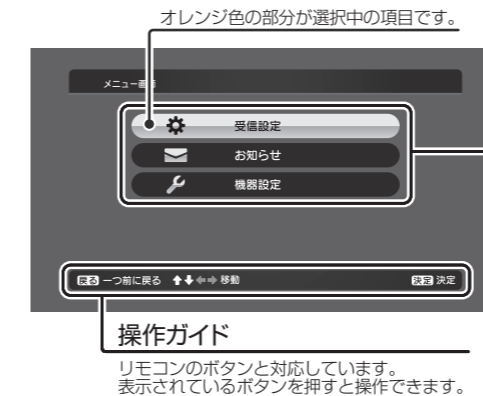
1. リモコンの メニュー を押す

▶ [メニュー画面]が表示されます。

※メニュー項目については右表を確認してください。

オレンジ色の部分が選択中の項目です。

メニュー画面 受信設定 お知らせ 機器設定 一つ前に戻る 移動 決定

操作ガイド
リモコンのボタンと対応しています。表示されているボタンを押すと操作できます。

2. リモコンで選択･実行する

ボタン	操作
▲ ◀ ▶ ▼	項目を選びます。選択中の項目はオレンジ色に表示されます。
決定	選択中の項目を決定または実行します。
戻る	1つ前の画面に戻ります。

※もう一度 メニュー を押すと、メニュー画面が消えます。

メニュー項目

受信設定

アンテナ設定	受信レベルを表示します。
リモコンボタン割り当て	付属のリモコンにお好きなチャンネルを割り当てます。
自動チャンネルスキャン	チャンネルを自動でスキャンします。
簡易テスト	B-CASカードが正常に機能しているかをテストします。

お知らせ

本機からのお知らせ	本機のソフトウェアの更新に関してのお知らせを表示します。
放送局からのお知らせ	放送局からのお知らせを表示します。

機器設定

機器情報表示		本機のソフトウェアのバージョン情報と、B-CASカードの情報を表示します。
視聴設定	字幕切換	字幕表示の設定を切り換えます。 ※付属のリモコンボタン 字幕切換 でも切り換えられます。
	映像切換	複数の映像がある番組で、映像を切り換えます。
	文字スーパー	文字スーパーの表示を設定します。
	緊急放送自動切換	オンにすると、緊急警報放送を受信した場合、自動で切り換えます。
	無操作自動電源オフ	オンにすると、約3時間操作がない場合、自動で待機状態に切り換えます。
出力設定	画面モード	画面の表示方法を切り換えます。 ※付属のリモコンボタン 画面モード でも切り換えられます。
設定初期化		本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

製品仕様

項目		
型番	PRD-BT106-P02	
外形寸法	W117×D91.3×H38(mm) ※突起部含まず	
質量	約140g ※本体のみ	
許容動作環境	温度 0 ～ 40℃／湿度 20 ～ 80%RH(結露なきこと)	
電源	電圧	本体：DC 5.0V
		ACアダプタ：AC100V 50/60Hz
	消費電力	3.0W
	待機電力	1.5W 以下
放送方式	地上デジタル放送方式（日本）	
チューナー	地上デジタルチューナー ×1	
受信チャンネル	地上波 (UHF)：13ch ～ 62ch	※CATV パススルー対応
	地上波 (VHF)：1ch ～ 12ch	
	CATV：13ch ～ 63ch	
入力	アンテナ端子	F 型コネクタ 入力インピーダンス 75Ω
出力	RCA 端子（コンポジット映像・アナログ音声 L/R）	